

KANSAI 統合型リゾート研究会の開催結果について

平成 29 年 7 月 9 日
 広域観光・文化・スポーツ振興局

平成 23 年に設置したKANSAI 統合型リゾート研究会については、国の議論も進まない中、研究会としては意見がまとまらず休止していたところですが、昨年末の特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律の制定を受け、再開し、下記のとおり研究会を開催しました。

記

1 委員

橋爪 紳也(座長)	大阪府立大学大学院経済学研究科教授
檜畑 直尚	一般社団法人和歌山経済同友会代表幹事
勝間 喜一郎	公益社団法人京都府青少年育成協会会長
小出 英樹	一般社団法人近江ツーリズムボード会長
田中 禎	ただしメンタルクリニック院長
中沼 丈晃	大阪府安全なまちづくり推進会議委員、摂南大学准教授

2 研究会

○日時 平成 29 年 6 月 18 日(日)10:00～12:00

○場所 大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）大会議室

○主な委員意見

- ・ IRを核とした地方創生など、地方の創意工夫を活かした多様なIRになるよう観光客の周遊を考慮し、近接して複数のIRがあっても良い。
- ・ IRからの納付金について、DMOへの支援など観光・文化振興に活用できるしくみが必要
- ・ ギャンブル依存症などのマイナス面を強調するのではなく、対策を行うことを国に対してアピールし、関西への誘致に役立てるべき
- ・ ギャンブル依存症対策、青少年育成ともに予防が重要
- ・ IRの周辺地域についても、増大する観光客への対応等警察の治安における役割が重要となる。

3 今後の予定について

今年度内に計4回程度開催し、次回は7月31日に大阪府立労働センターで開催し、広域連合としての国への提言案について議論する予定

その後、国の議論の動向を踏まえ、現在、改定作業中の関西観光・文化振興計画に盛り込むべき内容について検討